

国土技術研究会で最優秀賞を受賞！

～大規模土砂災害対策技術センター～

令和3年度の「国土交通省 国土技術研究会」にて、大規模土砂災害対策技術センターが取り組んでいる、砂防事業におけるUAVの利活用検討成果について口頭発表し、最優秀賞を受賞しました。



今年の国土技術発表会はオンライン開催でした。

<開催日>

令和3年11月4日(木)・5日(金) オンライン開催 一般部門「安心・安全Ⅱ」

<発表テーマ>

「UAVを用いたレベル3飛行（目視外補助者無し飛行）による河道閉塞および砂防施設の点検・調査活用について」

<発表概要>

砂防事業におけるUAV利活用として、UAV飛行可能範囲を大幅に拡大するレベル3飛行について、飛行許認可を取得しつつ、2機のUAVを併用した電波中継技術を駆使して、山奥の大規模崩壊地および砂防施設の調査・点検を実施した成果を報告した。



祝 最優秀賞を受賞！ 祝

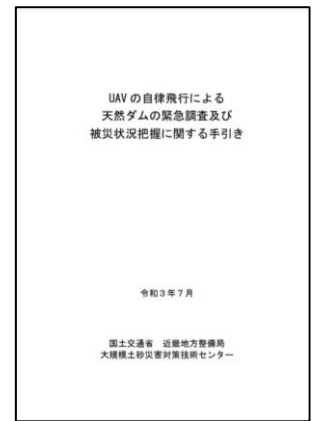
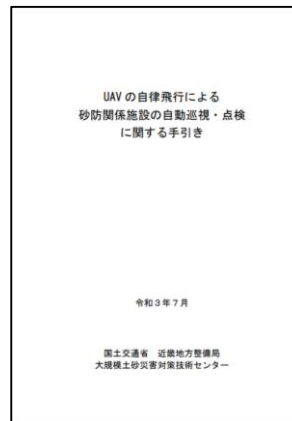
一般部門 安全・安心Ⅱ				
賞名	課題名	所属	発表者	
最優秀賞	UAVを用いたレベル3飛行（目視外補助者無し飛行）による河道閉塞および砂防施設の点検・調査活用について	近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター	北本 素	
優秀賞	排水ポンプ車の排水作業を停止することなく車両を通過させる検討について	中国地方整備局 中国技術事務所 施工調査・技術活用課	山川 史	
優秀賞	土砂災害時のよりよい避難行動に向けた地区防災計画の作成支援	関東地方整備局 富士川砂防事務所 調査課	田中 海晴	

「国土技術研究会」のHPにて論文を公開中！

↓クリック！↓

<https://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/brochure/r3anzen2.pdf>

UAV利活用に関する検討成果は手引きとして公開しています。



「UAVの自律飛行による砂防関係施設の自動巡視・点検に関する手引き」「UAVの自律飛行による天然ダムの緊急調査及び被災状況把握に関する手引き（令和3年7月改訂）」を、大規模対策技術センターHPで公開

山岳地帯における通信電波強度の安定化のために2機のUAVを自律（自動）飛行させて、土砂災害後の崩壊地や河道閉塞箇所および砂防施設の調査・点検を行いました。UAVはレベル3飛行で運用しており、防災・インフラ管理部門におけるUAVのレベル3飛行を用いた調査・点検は全国初の事例です。

災害現場のような人の接近困難な箇所や目視外の箇所においても、UAVを用いて効率的かつ迅速に、現場状況を把握可能であり、UAVの利活用の可能性を大幅に上げると期待されます。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター

〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6 TEL：0735-55-0820

